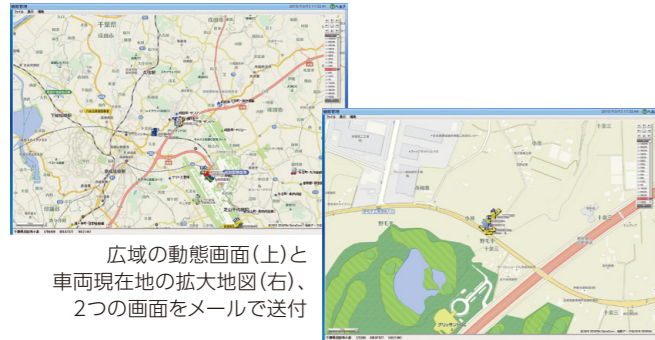


## ロジックライン様の取組みご紹介

### 顧客満足向上のために輸送状況を開示

安全運転や輸送品質に自信があるロジックライン様では、運行管理画面を常用便契約のお客様に開示しています。また、他のお客様にも、配送に遅延が生じる可能性があれば、車両の現在地を表示した動態画面のプリントスクリーンをメールで送付。お客様から事務所や乗務員へ問合せが来る前に、先手の対応を行っています。



### SNSサービスを活用して情報発信

最新情報の収集、人的ネットワークの構築のために、各種勉強会・研修に積極的に参加されています。そんな中から始められたのが、各種SNSサービスの活用。リクルートなどの社外向け情報から、社内での情報共有の意味も含めたコンテンツまで、頻繁に更新されています。



### ますます厳しくなる労務管理

#### 処分内容がさらに厳しくなった改善基準告示

トラック運転者の労働時間、拘束時間、休憩時間など、運送業での遵守義務を細かく規定した法令。運送業に遵守義務を課しています。2013年10月1日施行では、監査が強化され、行政処分の内容が一層厳しくなっています。

#### ◆行政処分の内訳

3年以内に同一違反があった場合、さらに厳しい処分が下されます。

項	違反事項	処分基準	処分基準(再違反時)
1	運行監視者未選任	事業停止30日間	120日車両営業停止
2	整備管理者未選任		
3	安全運転に対する点呼未実施		
4	監査拒否、虚偽の陳述		許可取り消し
5	名義貸し、事業の貸渡し	120日車両営業停止	20日車両営業停止×車両数
6	乗務時間の基準に著しく違反		
7	全ての車両定期点検整備が未実施		

### 2015年4月に改正された荷主勧告制度

運送事業者が行政処分を受けた際、その違反が荷主行為に起因すると認められた場合、荷主に対して再発防止の勧告を行うものです。非合理的な時間の設定、やむを得ない遅延に対するペナルティの設定などの違反が認められた場合に、運輸局が勧告を行います。

### ITP-WebService 労務管理オプションサービス

#### 改善基準告示に準拠した労務状況を自動計算

- 改善基準告示に準拠したチェック機能
- 拘束時間、運転時間のほか、休憩時間、時間外労働も手間なく集計
- 24時間、週間、月間、年間それぞれの単位で集計
- 手作業では難しい運転時間や、24時間の重複時間も自動計算



拘束時間の集計作業を大幅に軽減します。

●お問い合わせ先

■製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報機器営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NOF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5023

http://www.transtron.com/

注)掲載内容は取材当時のものです。そのため、製品・サービスおよび取材先の所属などにおいて内容が変更されている場合がありますので予めご了承ください。(取材日:2015年10月)

## 富士通 ネットワーク型デジタコ



# 高度活用術1 / 拘束時間管理



乗務員の拘束時間の限度(1カ月)

原則 **293時間**



乗務員の拘束時間をどのように管理し、お客様のご要望に応じていけば、よいのだろうか…

1日の休息は  
継続 **8時間以上**

ロジックライン様にお伺いして富士通製ネットワーク型デジタコの活用方法を取材させていただきました。



1日の拘束時間  
上限 **16時間**



クラウド型ネットワーク運行支援サービス



ドラレコ搭載ネットワーク型デジタコ



DTS-DID



DTS-CID



